

しずび出前講座

「起点としての80年代」

Starting Points: Japanese Art of the '80s

展を観に行こう！ (全2回)

1/5～3/24 に静岡市美術館で開催される「起点としての80年代」展の見所を紹介します！

現在のアートシーンの源流となった1980年代の日本の美術に触れてみませんか？

座学だけでなく、実際の鑑賞も楽しめます。誰でも気軽にお申込み下さい♪

1/29 (TUE)

レクチャー(解説)

展覧会の出品作品や
見所について
座学で紹介します。

西奈生涯学習センター
第1集会室

2/5 (TUE)

展覧会鑑賞

開催中の
「起点としての80年代」を
学芸員の解説を聞きながら
鑑賞します。

静岡市美術館 (葵区紺屋町)
※現地集合・解散

時間：14:00～16:00

会費：無料 (別途美術館観覧料)

対象：どなたでも20人

講師：伊藤 鮎 (静岡市美術館 学芸員)

申込：1/6 (日) 10:00～、

☎で西奈生涯学習センターにお申込みください。(申込順)

一般：900円

大高生・70歳以上：500円

中学生以下：無料

1980年～1989年
生まれの方：800円

西奈生涯学習センター 指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体
〒420-0911 静岡市葵区瀬名二丁目32番43号
TEL: 054-265-2468 <https://sgc.shizuokacity.jp/>

Starting Points: Japanese Art of the '80s

起点の80年代

2019 1/5(Sat) – 3/24(Sun)

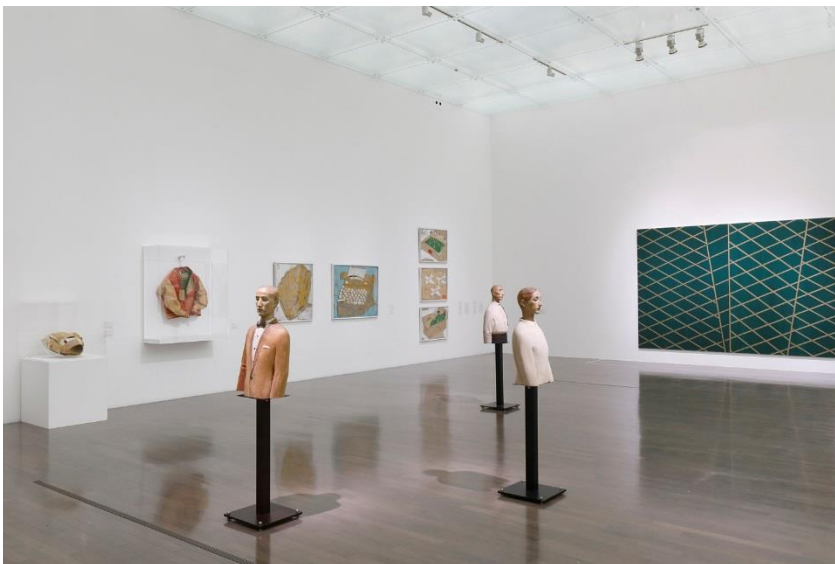
休館日 毎週月曜日 (ただし1/14 (月・祝)、2/11 (月・祝) は開館)、1/15 (火)、2/12 (火)

1980年代は、「インスタレーション」や「メディア・アート」など、今日の美術表現につながる重要な動向が生まれた時代です。「美術」ではなく「アート」という言葉がよく使われるようになり、美術館やギャラリー以外にも「オルタナティブ・スペース」が登場し始めたのもこの時代でした。日本の戦後美術は、「具体」や「もの派」といった1970年代の動向までは、近年国内のみならず欧米でも急速に研究が進んでいますが、80年代はまだこれからと言えるでしょう。

本展は、金沢21世紀美術館、高松市美術館と当館の3館による共同企画展です。70年代の試みを引き継ぎながら、現在のアートシーンの源流となった1980年代の日本の美術を探ります。



1



2

1. 金沢21世紀美術館での展示 (左から諏訪直樹、中原浩大、吉澤美香) 撮影: 木奥恵三
2. 金沢21世紀美術館での展示 (左から日比野克彦、舟越桂、中村一美) 撮影: 木奥恵三

【出品作家】

石原友明、今村源、大竹伸朗、岡崎乾二郎、川俣正、杉山知子、諏訪直樹、辰野登恵子、戸谷成雄、中原浩大、中村一美、日比野克彦、藤本由紀夫、舟越桂、松井智恵、宮島達男、森村泰昌、横尾忠則、吉澤美香